

次世代環境適合技術流体実験共用促進事業による体験学習会

－風洞試験に関する計測技術Ⅱ－

(風洞に入らない大型模型の試験)

趣旨

標記事業により、東北大学流体科学研究所の低乱風洞では、企業が本風洞を利用し（有償）、更に、風洞試験に関わる技術的支援も受けられる（無償）体制が整えられています。しかし、風洞試験技術には専門的な知識と経験が必要なこともあり、製品開発で風洞を利用する際に、どの程度の試験になるのか想像し難く、風洞利用の具体的メリットを理解し難いとの指摘も有ります。そこで、風洞利用を考える際に、キーとなる風洞試験方法、基本的な計測技術等を簡単且つ具体的に理解して頂ける機会を、潜在的な風洞利用者の方々に提供することに致しました。風洞試験技術は大変多岐に亘るものですが、低乱風洞で企業の技術者が利用する一般的で基本的な場合に絞りを、本年度4回に分け、時間も午後の2時間と限定して体験学習会を開催することに致しました。本研究所の低乱風洞ご利用に興味をお持ちの企業の技術者の方々に是非ご出席頂きたいと思っています。低乱風洞を利用して貴社製品の開発スピードの更なる向上や、新しい製品アイデアの実現に貢献できればと願っております。

開催日時：平成24年6月1日（金曜日）、午後2時30分から4時30分まで

開催場所：東北大学片平キャンパス、流体科学研究所環境実験棟検定風洞室（2階）

注意：流体科学研究所環境実験棟は片平キャンパスの南キャンパスにあり、流体科学研究所本館の有る片平北キャンパスとは少し場所が違います。そこから徒歩5分ほど南に有ります。（地図添付）

題目：－風洞試験に関する計測技術Ⅱ－（風洞に入らない大型模型の試験）

説明員：低乱風洞実験施設共用リエゾン室、研究支援者、澤田秀夫

内容：風洞で調べてみたい製品の大きさには、手の平に載るものから人の背丈を超えるものまで色々とあります。今回の学習会では、大きな製品の風の影響はどのような原理を使い、風洞で試験できるのか、風洞試験で体験しながら学習するものです。学習補助資料として、パワーポイントの資料を添付いたしますので、内容をご検討の上、少しでもご興味がありましたら是非ご参加ください。

補足：学習会終了後には、具体的な利用方法に関しての個別相談にも対応する様にしております。複数の個別相談にも対応するため、事前にご連絡頂けると、お待ちいただく時間も少なくできると思います。

対象事業体験学習会会場：低乱環境風洞実験棟 (No.64)

